土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	砂防指定地内河川　恵木谷川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県三次市畠敷町	北緯	34° 48' 53.3138"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和3年10月13日～ 令和3年10月15日	東経	132° 53' 19.2800"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 244.61m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦製DO-DRXOSO / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	244.11	0.50		砂混りシルト		褐～暗褐		rc2	崖錐堆積層に該当。シルト主体で中砂～細砂が混在する。表層には植物根を多く含む。φ2～10mm程度の礫が点在。	
1				玉石混り砂礫		灰褐橙～褐		rd4	φ10～40mmの礫と粗砂からなり、硬質な花崗岩最大礫径120mmの転石を含む。含水量は少ない。	
2	242.61	2.00								
3				強風化流紋岩		褐			強風化流紋岩に相当する。シルト～砂状のコアとして採取。風化によって指圧で容易にコアが崩れる。岩組織は残存するも、所々で細粒分状を呈し、岩組織は不明瞭。岩級区分はDM～DH級。	
	240.81	3.80								
4				花崗岩		灰褐橙			岩片状～短柱状コアとして採取。花崗岩の貫入岩。やや硬質だが割れ目は褐色化を呈する。岩級区分はCL～DH級。	10/15 4.75
	240.01	4.60								
5				流紋岩		暗褐			岩片状～短柱状コアとして採取。岩組織や鉱理は明瞭。GL-6.10m付近および6.80m付近ではやや軟質な砂礫状コア。岩級区分はCL～DH級。	
6										
7	237.61	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
47	1.15	10	21	16	47/300		
	1.45						
17	2.15	4	5	8	17/300		
	2.45						
24	3.15	5	8	11	24/300		
	3.45						
50以上	4.00	貫入不能			50	0	
50以上	4.45	50			50	90	
50以上	4.54	90			90		
	5.00	貫入不能			50	0	
50以上	6.00	貫入不能			50	0	
50以上	7.00	50			50	30	
	7.03	30			30		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				10/14
				10/15